

都市再生整備計画 事後評価シート
群馬中央第二周辺地区

平成30年2月

群馬県高崎市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	群馬県	市町村名	高崎市	地区名	群馬中央第二周辺地区			面積	82.0 ha					
交付期間	平成25年度～平成29年度	事後評価実施時期	平成29年度	交付対象事業費	473.1百万円	国費率	0.4							
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	A基幹事業	都市再生整備計画	事業名 ・地域生活基盤施設(地域防災施設)：群馬中央第二周辺地区 調整池整備事業 ・まちづくり活動推進事業(啓発・研修活動)：「中央第二地区安全安心まちづくりの会」運営支援事業										
		B関連社会資本整備事業	—	—										
		C効果促進事業	—	—										
	当初計画から削除した事業	A基幹事業	都市再生整備計画	事業名 ・下水道：中央第二地区 公共下水道整備事業 ・地域生活基盤施設(地域防災施設)： ・棟高一時集合場所整備事業 ・群馬中央第二周辺地区調整池整備事業(本体工事)		削除/追加の理由 ・区画整理事業による基盤施設の整備の遅れにより、計画期間内での当事業の実施が困難となったため。 ・区画整理事業による基盤施設の整備の遅れにより、計画期間内での当事業の実施が困難となったため。 ・関係機関との事業実施に係る協議に不測の日数を要したため。(流入側水路は整備したが、調整池本体と流出側水路は未整備である。)		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響 ・関連事業として中央第二土地区画整理事業、高崎市による下水道整備を実施しているため、「指標2」への影響は生じない。 ・関連事業として中央第二土地区画整理事業、「中央第二地区安全安心まちづくりの会」ワークショップを継続開催しているため「指標1」「指標3」への影響は生じない。 ・調整池本体が未整備のため、「指標2」について影響があると思われる、目標値を「20.0%」から「36.0%」へ変更する。 ・関連事業としてワークショップを継続開催したため、「指標3」への影響は生じない。						
		B関連社会資本整備事業	—	—		—		—						
		C効果促進事業	—	—		—		—						
	新たに追加した事業	A基幹事業	都市再生整備計画	土地区画整理事業：中央第二土地区画整理事業		・広域的道路網の根幹である「中央幹線」の整備を進めるため。		・「指標1」の評価について、プラスの影響があると思われる。						
		B関連社会資本整備事業	—	—		—		—						
		C効果促進事業	—	—		—		—						
	交付期間の変更	当初変更	平成25年度～平成29年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		—							
2) 目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ		
				基準年度	目標年度		モニタリング	評価値	達成度	達成見込み				
	指標1	生活環境の充実	%	45.0	H24	65.0	H29	52.7	66.5	○	あり なし	●	区画整理事業による道路網や供給処理施設の整備が進み、基盤施設の充実が実感された。	H30/10
	指標2	治水対策、自然災害対策に対する不安度の低減	%	48.0	H24	36.0	H29	43.0	40.5	△	あり なし	●	治水(自然)災害対策の根幹である調整池本体が未整備であるため、目標値のクリアはできなかったが、区画整理事業による側溝整備等が評価され従前値は上回った。	H30/10
指標3	地域防災に対する意識の向上	%	49.0	H24	75.0	H29	62.7	78.3	○	あり なし	●	防災ワークショップの啓発活動と地域への波及が、目標値をクリアできた要因と判断される。	H30/10	
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標	効果発現要因(総合所見)		フォローアップ		
				基準年度	目標年度		モニタリング	評価値	達成度			予定時期		
4) 定性的な効果発現状況	・区画整理事業の進展と建物の移転に伴い、旧来の農村集落に残っていた防風林が撤去され、都市計画道路沿道を中心とした新市街地では、開放的で健康的な都市景観が創出された。 ・地域防災に関する啓発活動を通して、旧来からの住民と新しい住民間での連携意識や、自主防災への主体的な取り組み意識が向上した。													
5) 実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等						
	モニタリング	・従前値を求めた手法と同様の住民アンケートを実施した。			計画に記載し、実施できた 計画に記載はなかったが、実施した 計画に記載したが、実施できなかった				● ・事後評価後のフォローアップを適正に実施する。					
	住民参加	・中央第二地区「安全安心まちづくりの会」の活動			計画に記載し、実施できた 計画に記載はなかったが、実施した 計画に記載したが、実施できなかった				● ・これまでの学習を継続するとともに、地域災害が発生した際の、主体的な対応力、実践力の強化を図る。					
持続的なまちづくり体制の構築	・中央第二地区「安全安心まちづくりの会」の組織強化。			計画に記載し、実施できた 計画に記載はなかったが、実施した 計画に記載したが、実施できなかった				● ・地域独自のまちづくりルール制定を目指す。 ・中央第二地区を中核とした、周辺地域との連携強化を目指す。						

様式2-2 地区の概要

群馬中央第二周辺地区(群馬県高崎市) 都市再生整備計画事業の成果概要

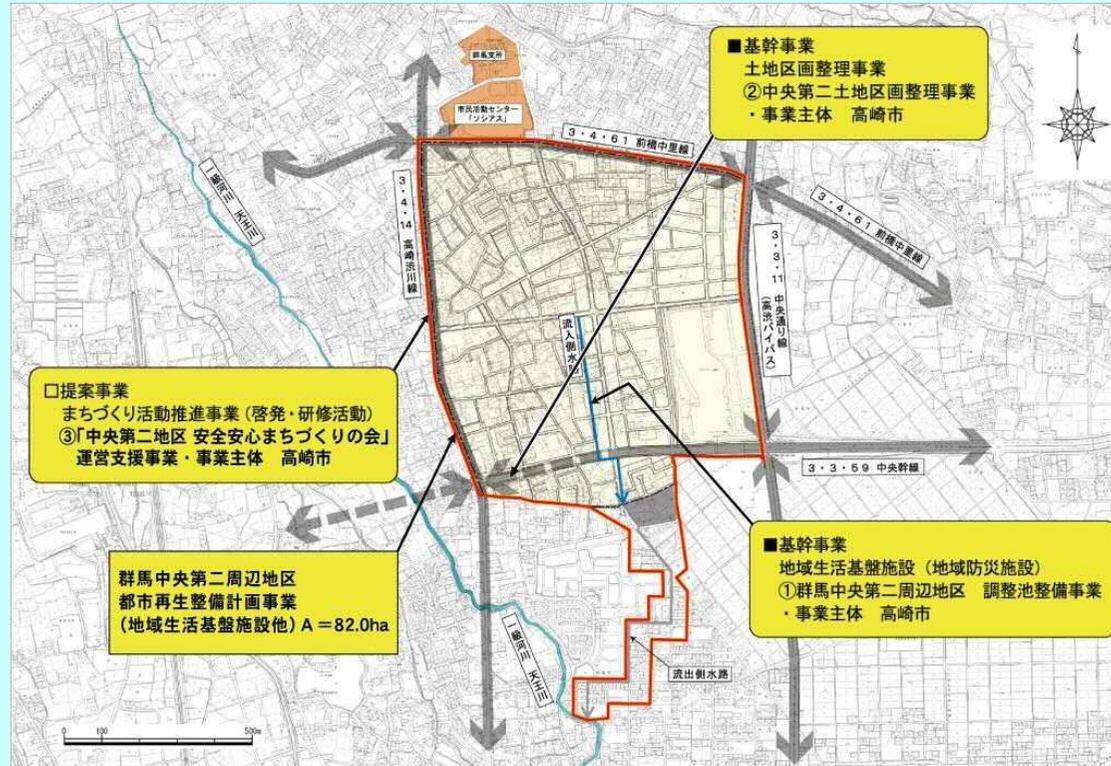
まちづくりの目標	目標を定量化する指標			従前値		目標値		評価値	
【誰もが住みたい、住み続けたいと思う、安全で快適な地域づくり】 ①「住みやすさと安全」を実感する生活環境を形成する。 ②治水対策を中心とした、自然災害に強い都市基盤を形成する。 ③地域住民の主体的な防災意識の向上を目指す。	都市再生	生活環境の充実	単位: %	45.0	H24	65.0	H29	66.5	H29
	都市再生	治水対策、自然災害対策に対する不安度の低減	単位: %	48.0	H24	36.0	H29	40.5	H29
	都市再生	地域防災に対する意識の向上	単位: %	49.0	H24	75.0	H29	78.3	H29



①群馬中央第二周辺地区
調整池整備事業(流入側水路)



②中央第二土地区画整理事業



③まちづくり活動推進事業
「中央第二地区
安全安心まちづくりの会」運営支援事業

凡	例
■	基幹事業
■	関連社会資本整備事業
■	効果促進事業

まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> 区画整理事業では、まちづくりワークショップからの提言をうけ、基盤目状の道路網から、現況を活かした道路網への見直しが図られたことにより、地域の実情に即し、これまでのコミュニティを維持した基盤整備が進められている。 地域の雨水排水は、道路側溝による処理方式であるため、これまでに道路網が整備された区域での冠水被害は解消されつつある。一方、残された課題としては、未整備区域での体系的な排水ルート構築と、雨水洪水対策の根幹的施設である雨水調整池本体の早期整備である。 地域防災に関する啓発活動を通して、旧来からの住民と新しい住民間での連携意識や、自主防災への主体的な取り組み意識が向上した。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 公園や公民館等のコミュニティ施設を拠点として、防災と防犯に関する、地域住民の主体的な実践力を強化し、安全で住み続けたいと思う地域づくりを進める。 雨水排水処理が不十分である地域の解消を進め、浸水被害のない、健康的な市街地の整備を進める。